



平成28年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年7月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社エスクロー・エージェント・ジャパン

コード番号 6093 URL <http://www.ea-j.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 本間 英明

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 管理本部長 (氏名) 太田 昌景

TEL 03-6703-0500

四半期報告書提出予定日 平成27年7月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年2月期第1四半期の連結業績(平成27年3月1日～平成27年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年2月期第1四半期	431	35.2	143	114.1	143	146.2	89	177.9
27年2月期第1四半期	318	—	67	—	58	—	32	—

(注) 包括利益 28年2月期第1四半期 89百万円 (177.9%) 27年2月期第1四半期 32百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年2月期第1四半期	111.61	108.86
27年2月期第1四半期	43.05	41.97

(注) 平成27年2月期第1四半期から四半期連結財務諸表を作成しているため、平成27年2月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年2月期第1四半期	1,807	1,573	87.0	1,958.92
27年2月期	1,711	1,509	88.2	1,904.27

(参考) 自己資本 28年2月期第1四半期 1,573百万円 27年2月期 1,509百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年2月期	—	0.00	—	45.00	45.00
28年2月期	—	—	—	—	—
28年2月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年2月期の連結業績予想(平成27年3月1日～平成28年2月29日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	796	31.6	206	104.6	206	123.6	132	171.4	165.38
通期	1,563	29.8	328	61.0	316	60.5	195	83.8	242.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年2月期1Q	803,100 株	27年2月期	792,700 株
② 期末自己株式数	28年2月期1Q	— 株	27年2月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年2月期1Q	797,467 株	27年2月期1Q	744,021 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、個人消費については引続き弱さがみられるものの、株価上昇及び円安が継続する中、政府や日本銀行による各種政策の効果などにより、企業収益や雇用環境の改善がみられる等、緩やかな回復基調で推移いたしました。

不動産市場においては、消費税増税後の反動減の影響が続いておりましたが、政府の住宅市場活性化策であるフラット35Sの金利優遇拡大、省エネ住宅ポイント制度の実施、住宅取得等資金に係る贈与税非課税措置の拡充等が開始されたこと等により、全体的には持ち直しの動きがみられます。

このような状況の中、当社グループは既存取引先へのサービスの拡充、新規取引先の開拓及びエスクロー機能の開発に注力してまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は431,184千円（前年同期比35.2%増）、営業利益は143,818千円（前年同期比114.1%増）、経常利益は143,707千円（前年同期比146.2%増）、四半期純利益は89,007千円（前年同期比177.9%増）となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間におけるセグメント別の業績は次のとおりであります。

(エスクローサービス事業)

エスクローサービス事業では、政府の緊急経済対策の決定を受け、一般消費者における住宅取得への関心が先送りの傾向になっていた反動から、当社サービス利用者における従量課金システムの利用頻度が高まり、また、不動産取引の決済に係る安全性向上のための、信託口座を用いたエスクロー口座の利用等が好調に推移いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は185,108千円（前年同期比26.5%増）、セグメント利益は158,622千円（前年同期比23.6%増）となりました。

(BPO事業)

BPO事業では、既存取引先における業務範囲拡大及び新規取引先の獲得に向けた活動を積極的に行うと共に、今後、金融機関及び不動産事業者等からの中古住宅における評価業務のニーズが高まることを想定し、不動産鑑定業を開始いたしました。また、既存取引先である金融機関の融資関連業務の受注が好調に推移したこと、及び前年度の新規取引先からの業務受託の業績貢献、及び新規取引先の開拓により、増収増益となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は246,075千円（前年同期比42.6%増）、セグメント利益は89,407千円（前年同期比149.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における資産は1,807,701千円となり、前連結会計年度末と比較して96,146千円の増加となりました。

流動資産は1,709,661千円となり、前連結会計年度末と比較して98,075千円の増加となりました。これは主に、現金及び預金が93,715千円増加したことによるものであります。固定資産は98,040千円となり、前連結会計年度末と比較して、1,928千円の減少となりました。これは主に、システム関連の投資が1,245千円あった一方で、減価償却費を3,309千円計上したことによるものであります。

負債の残高は234,492千円となり、前連結会計年度末と比較して32,455千円の増加となりました。

流動負債は230,199千円となり、前連結会計年度末と比較して34,075千円の増加となりました。これは主に、未払法人税等が23,780千円増加したことによるものであります。固定負債は固定リース債務のみで、残高は4,293千円であり、前連結会計年度末と比較して1,619千円の減少となりました。

純資産の残高は、1,573,209千円となり、前連結会計年度末と比較して63,690千円の増加となりました。これは、新株予約権行使により資本金が5,177千円、資本準備金が5,177千円増加したことによるもの、及び利益剰余金が53,335千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年2月期の連結業績予想につきましては、平成27年4月10日に公表いたしました連結業績予想を下記のとおり変更しております。

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回連結業績予想 (A)	1,382	227	227	142
今回連結業績予想 (B)	1,563	328	316	195
増減額 (B - A)	180	100	88	53
増減率 (%)	13.1	44.3	39.0	37.3
(ご参考) 前期実績 (平成27年2月期)	1,204	203	197	106

2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,434,310	1,528,026
売掛金	151,683	151,976
その他	25,697	29,765
貸倒引当金	△106	△106
流動資産合計	1,611,585	1,709,661
固定資産		
有形固定資産	9,791	9,991
無形固定資産	45,942	43,678
投資その他の資産	44,234	44,370
固定資産合計	99,969	98,040
資産合計	1,711,554	1,807,701
負債の部		
流動負債		
買掛金	36,496	37,675
未払法人税等	34,156	57,937
賞与引当金	12,316	12,236
その他	113,152	122,349
流動負債合計	196,123	230,199
固定負債	5,913	4,293
負債合計	202,036	234,492
純資産の部		
株主資本		
資本金	280,626	285,804
資本剰余金	395,466	400,644
利益剰余金	833,425	886,761
株主資本合計	1,509,518	1,573,209
純資産合計	1,509,518	1,573,209
負債純資産合計	1,711,554	1,807,701

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年5月31日)
売上高	318,965	431,184
売上原価	154,853	174,904
売上総利益	164,111	256,279
販売費及び一般管理費	96,943	112,460
営業利益	67,168	143,818
営業外収益		
受取利息	15	59
受取家賃	70	40
受取手数料	-	80
その他	6	-
営業外収益合計	91	179
営業外費用		
支払利息	36	20
株式交付費	-	180
株式公開費用	8,863	-
為替差損	-	90
営業外費用合計	8,900	291
経常利益	58,360	143,707
特別損失		
減損損失	2,754	-
特別損失合計	2,754	-
税金等調整前四半期純利益	55,605	143,707
法人税、住民税及び事業税	27,044	56,308
法人税等調整額	△3,467	△1,608
法人税等合計	23,577	54,699
少数株主損益調整前四半期純利益	32,028	89,007
四半期純利益	32,028	89,007

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年3月1日 至 平成27年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	32,028	89,007
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	-	-
四半期包括利益	32,028	89,007
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	32,028	89,007
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年3月1日至平成26年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	エスクロー サービス	BPO	計		
売上高					
外部顧客への売上高	146,350	172,615	318,965	-	318,965
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	146,350	172,615	318,965	-	318,965
セグメント利益	128,305	35,806	164,111	△96,943	67,168

(注) 1. セグメント利益の調整額△96,943千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない本社部門で生じた販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、損益計算書の営業利益との調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

固定資産の減損損失2,754千円は、遊休資産に係るものであり、報告セグメントに配分しておりません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年3月1日至平成27年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	エスクロー サービス	BPO	計		
売上高					
外部顧客への売上高	185,108	246,075	431,184	-	431,184
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	185,108	246,075	431,184	-	431,184
セグメント利益	158,622	89,407	248,029	△104,210	143,818

(注) 1. セグメント利益の調整額△104,210千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない本社部門で生じた販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、損益計算書の営業利益との調整を行っております。